学校番号	107

令和８年度　地理歴史　科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」（帝国書院）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2026」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・変化の激しい現代世界の「今」を的確に捉える。
・作業的・体験的な学習を通じて地理的技能を身につける。
・世界地誌を学習し、グローバル化された世界像を理解する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・世界の諸地域の生活・文化を多面的に理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代世界の地理的事象を世界的視野から地域のレベルまで捉えることができる。
・持続可能な社会を生み出す創造力を身に付け、課題解決を図る資質・能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・自然災害を考え、防災・減災のために自ら進んで行動する力をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，分布や場所，人間と自然環境との相互関係，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に話し合ったりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現にむけた課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して育まれる日本国民としての自覚，国土に対する愛着，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部 第1章 地図と地理情報システム・第2章 結び付きを深める現代世界	1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 3 地球儀と地図 4 身の回りの地図 5 統計地図の種類と利用 6 地理情報システム(GIS)の利用 7 現代世界の国家 8 日本の位置や領域	a: さまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。さまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，情報を収集，読み取り，まとめる基本的な技能を身に付けている。さまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・考査 ・確認テスト	・考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート

	第2部 第1章 1節 世界の地形と人々の生活	1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	a: 生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成するプレートの変動帯と安定地域における平野について理解している。河川や海洋・氷河がつくる地形・カルスト地形・乾燥地形と生活の関わり，生活への影響について理解している。 b: 生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成するプレートの変動帯と安定地域における平野について理解している。河川や海洋・氷河がつくる地形・カルスト地形・乾燥地形と生活の関わり，生活への影響に着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成するプレートの変動帯と安定地域における平野について理解している。河川や海洋・氷河がつくる地形・カルスト地形・乾燥地形と生活の関わり，生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・考査 ・確認テスト	・考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート

後期	5節　世界の産業と人々の生活	1　人々の生活を支える農業の発展 2　人々の生活を支える工業の発展 3　グローバル化する現代の産業と人々の生活 4　追究事例　産業1 産業力が世界の生活文化に与える影響　-アメリカ合衆国- 5　追究事例　産業2 経済成長による人々の生活の変化　-東アジア- 6　追究事例　産業3 地域統合が人々の生活や産業に与える影響　-ヨーロッパ-	a：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題・工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差・企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について理解している。 b：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題・工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差・企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題・工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差・企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・考査 ・確認テスト	・考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート

	第２部　第２章　地球的課題と国際協力	1　多様な地球環境問題 2　熱帯林の破壊への対策 3　地球温暖化への対策 4　世界のエネルギー・鉱産資源 5　エネルギー利用の現状と課題 6　地域で異なるエネルギー問題への取り組み 7　世界の人口 8　発展途上国と先進国の人口問題 9　地域で異なる人口問題への取り組み 10　世界の都市の発展 11　発展途上国と先進国の都市・居住問題 12　地域で異なる都市・居住問題への取り組み	a：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・考査 ・確認テスト	・考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート

後期	第３部　第１章　自然環境と防災	1　日本の地形 2　日本の気候 3　地震･津波による災害 4　地震･津波の被災地の取り組み 5　火山の恵みと災害 6　火山と共生する地域の取り組み 7　減災の取り組み 8　被災地への支援	a:我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	･考査 ･確認テスト ･レポート	･考査 ･授業プリント ･ワークシート ･レポート	･授業プリント ･ワークシート ･レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度